

2005年度 学部共同研究会

回 日 時	テーマおよび報告者
第1回（5月31日）	「〈声〉の有線メディア史」 坂田 謙司（産業社会学部助教授）
第2回（6月30日）	「10年後のテレビ像—コマーシャリズム，ジャーナリズム，ブロードバンド—」 奥村 信幸（産業社会学部助教授） 「広告メディアプランニングの新しい流れ—量的から質的へ—」 小泉 秀昭（産業社会学部教授）
第3回（7月15日）	「感情社会学の展開—自己・他者の感情を操作すること—」 崎山 治男（産業社会学部助教授） 「社会学と政策のあいだ—シカゴ学派からの視点」 宝月 誠（産業社会学部教授）
第4回（7月25日）	書評会『トクヴィルとデュルケム—社会学の人間観と生の意味—』（東信堂，2005.3） 菊谷 和宏（和歌山大学経済学部助教授）
第5回（10月21日）	「自閉症と創造性」 石坂 好樹（産業社会学部教授）
第6回（10月28日）	「スキャンジナビアの福祉レジーム」 Peter ABRAHAMSON（コペンハーゲン大学社会学部教授，立命館大学客員教授）
第7回（11月18日）	「ケアの社会学」 三井 さよ（法政大学社会学部専任講師）
第8回（11月24日）	「今日のナイジェリアにおける身体表現と社会・文化—ナイジェリア国立舞踊団を事例として—」 アーノルド・ウドカ，オケレク・ヴァージニア，エノノチェ・アリス，アデジュモ・エマニュエル，アリ・ゴリ，フンガ・フンペ（ナイジェリア国立舞踊団員）
第9回（11月25日）	「『近代家族』の変容と親子関係—parenting Educationを手がかりとして—」 斎藤 真緒（産業社会学部助教授）
第10回（11月26日）	「ボランティア活動の倫理」 西山 志保（山梨大学工学部助教授）
第11回（11月30日）	「ベトナム障害児・者の現状と課題」 CAO Thi Xuan My 先生（ホーチミン師範大学）HOANG Thi Nho 先生（ハノイ師範大学）
第12回（12月15日）	「現代日本における芸者」 Ursula Richter（元宮崎大学教授）
第13回（12月16日）	「市民による自然エネルギー普及」 和田 武（産業社会学部教授） 「ノルウェーの女性労働」 中川 順子（産業社会学部教授） 「地方震災史研究の歩み」 深井 純一（産業社会学部教授）
第14回（1月19日）	「システーマナ礼拝堂の天井壁画に見られる色彩の意味」 若山 映子（大阪大学大学院文学研究科教授）
第15回（1月20日）	「私の人間発達論—続編—」 加藤 直樹（産業社会学部教授）

第15回（1月20日）	「日本経済と石油産業—その歴史的考察—」 伊藤 武夫（産業社会学部教授）
第16回（1月27日）	「市民的公共放送としての再生は可能か—NHKの現場報告を交えて—」 松田 浩（メディア総合研究所研究員，元本学部教授） 佐多 慎也（NHKディレクター，日放労中央執行委員）
第17回（3月17日）	定年退職記念講演会 「私の研究—これまでの歩み、これからの歩み—」 伊藤 武夫教授，加藤 直樹教授，中川 順子教授，深井 純一教授，和田 武教授 （コメンテーター）崎山 治男助教授 山口 歩助教授 （司会）仲間 裕子教授